

令和5年御嵩町長選挙 立候補者アンケート

渡辺 幸伸 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOやボランティアなどの町民グループ(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、御嵩町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい . いいえ . その他

詳細(300字以内)

他の自治体と同様、御嵩町においても人口減少、少子高齢化が大きな課題となっています。担い手である世代の流出等により耕作放棄地の増加、移動手段の喪失、ひいては自治会機能の減退に至るまで様々な問題を引き起こしています。こうした中、それらの課題の解決を担う役割として、NPOやボランティア(以下団体)の役割は年々高まっていると思われまます。

一方で、団体側にも活動を担う人材の高齢化、固定化など、さらには活動資金の減少による規模の縮小など多くの課題があることも認識しています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

御嵩町では、「御嵩町地域づくり活動助成金交付事業」を設けるなどNPO等の活動推進策が実施されています。NPO等の活動をより推進していくために、活動費の補助や人材育成など、その他にも活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい . いいえ . その他

詳細(300字以内)

NPOや地域のボランティア(以下、団体)が活動するための課題について、代表的なものとして「担い手」と「活動資金」があげられると思われまます。

「担い手」に関しては、既存の団体に加え、世代やジャンル、更には地域外からの参画も進め、その中での交流、研修、先進事例の視察等を通じて、まちづくりを担う人材の育成に努めていきたいと思われまます。

一方、活動資金等に関しては、活動内容やその効果性をよく検討し、必要な活動に関しては更なる支援を行うなど、メリハリをもって進めていきたいと思われまます。

いずれにしても、まずは個々の団体と意見交換等を行い、課題の把握や今後の進め方について把握していきたいと思われまます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「御嵩町第五次総合計画 後期基本計画 第2編 基本構想 まちづくりの理念と将来像」では協働によるまちづくりの基本理念が書かれています。

今後も御嵩町のまちづくりのために、御嵩町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

今後の町政運営を進めるための基本理念の一つに「協働・共創によるまちづくり」を掲げております。

この理念を実現するために、「町民の皆さんとともにまちをつくる」ことを念頭に住民参加によるまちづくりを進めていきたいと思っております。

施策を具体的に実現していくためには、地域で活動しているNPOやボランティア団体の方と協働してまちづくりを実行していくことが重要であると考えています。

また外部から御嵩町を見ていただくことも必要であることから、新たに「御嵩町ファンクラブ(仮称)」を立ち上げ、その活動を通して、協働によるまちづくりを実践していきたいと思っております。

ご協力ありがとうございました。